



被爆 74 年 連合 2019 平和ナガサキ集会 核兵器廃絶 1000 万署名に向けてキックオフ!

8月8日～9日、連合主催の「被爆74年 連合2019 平和ナガサキ集会」～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～に、JR連合JR九州労組長崎地本とJR東海ユニオンの仲間と共に、私たちジェイアールイーストユニオンも国井副委員長と小林徹志執行委員の2名が連合の一員として参加した。

長崎県立総合体育館で行われた集会は、連合長崎宮崎会長の挨拶で始まり、犠牲者の苦しみに思いをよせながら「黙祷」を捧げた後、神津里季生連合会長、中村長崎県知事、田上長崎市長とそれぞれの立場で、核の恐怖に終止符を打ち、核兵器廃絶を訴え、長崎から、日本から、世界に向けて発信し、世界平和の実現を強く訴えた。また、若者からのメッセージとして、全国から参加している高校生平和大使から「ピリョクだけどもリョクじゃない!」と、国連の場を通じ全世界の人々に伝えて行く!と熱い思いも届けられた。最後に「平和を願うすべての力を結集し、政府や国際社会に訴え、核兵器廃絶



と恒久平和を目指していくこと」としたナガサキからの平和アピールを力強く宣言し、満場の拍手で採択された。



集会後は平和シンポジウムが開かれ、そして、「核兵器廃絶1000万署名」のキックオフの位置づけとして、あらためて全体が心をひとつにした。私たちJREユニオンもこの署名について、最大限の取り組みを図ることとしている。平和のために、あるべき人類の姿を創造していこう。

今も世界のどこかで戦争による犠牲者は後を絶たない。一人ひとりが「平和」に真剣に向き合い、未来のため、恒久平和を実現していかなければならない!

世界の恒久平和に向かって、今こそ全ての願いをひとつに!